

開館記念展 参加アーティスト

※アーティストの名前は
五十音順で並んでいます。

秋野 暢子 Yoko Akino 女優

大阪ミナミの呉服屋の末娘として生まれる。
1975年NHK朝のテレビ小説「おはようさん」の主役殿村鮎子役に抜擢される。
その後、TVや映画、CD 発売、ダイエツト本発売やイベント、講演会など多方面に活躍の場を広げている。
作品の売り上げはがん治療に寄付する活動をしている。

五十嵐 誠 Makoto Igarashi 木工芸家

1978年 東京都立川市生まれ
2000年に京都伝統工芸専門学校卒業後、東京にて「工房今昔堂」を始める。
その後、多くのコンペ入選し2014年に初個展を開催。
木工芸の中でも板材を組み立てて形成する指物の技法で伝統技術とデザインが調和する作品を生み出して注目を集めている。

芥岡 鶴太郎 Tsurutaro Kataoka 俳優・画家

俳優として幅広いキャラクターを演じ、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞。
また、画家として数々の個展を日本、国外にて開催し、好評を博す。
展覧会を毎年のように全国各地で開催する一方、書籍や冊子の挿絵なども担当している。
書家としても、書の芥川賞といわれる「第10回手島右卿賞」、「第32回産経国際書展功労賞」を受賞。

コノブロス Konobros 漫画家、イラストレーター

コノブロス(兄)
1992年生まれ
大分県中津市出身
福岡の九州デザイナー学院を卒業して2022年に漫画家ビュー、2024年に企画・線画を担当し、カラーを実の弟に担当してもらい、本格的にアーティスト活動を開始する。

小松崎 徹郎 Tetsuo Komatsuzaki 洋画家

1961年 デッサンの神、小松崎邦雄の長男として東京谷中に生まれる。
1984年 東京藝術大学 美術学部油画 卒業
1986年 東京藝術大学 大学院 修了
浦和画家としての血脈を受け継ぐ。伝統的な油彩画と現代的な両立を計る。
数々の個展を開催され、精力的に創作活動に取り組まれています。

崔 龍熙 Sai Ryuki 陶芸家

1986 京都市生まれ
2010 京都市技術産業研究所陶磁器コース修了
2013 京都府立陶工高等技術専門学校修了
近藤高弘氏に師事
2019 独立 京都にて作陶

高木 己樹恵 Mikie Takagi 陶芸家

2007 京都府立陶工高等技術専門学校 成形科修了 近藤高弘氏に師事
2011 清州国際工芸ビエンナーレ銀賞受賞
2013 伊賀市に移住・「巳一窯」開窯
主な個展
・高島屋 京都店('15 '18 '21 '24)
・日本橋三越本店('19)
・アーツスペースIGA('22)
・津松菱('23)
・グループ展:博多阪急('17)
・高島屋 大阪店('19)

高山 大 Dai Takayama 陶芸家

1972 三重県津市生まれ
1996 近藤高弘氏に師事(～2001年)
2002 タンザニアにて土器の制作 真宗高田派光泉寺住職継承
2019 パラミタ陶芸大賞受賞
2023 個展 日本橋高島屋(東京) [同2014・2016・2018・2021]
個展 ジェイアール名古屋タカシマヤ(愛知)
2024 四人展 セイコーハウス銀座ホール(東京)

田中 小枝 Sae Tanaka 陶芸家

1969 三重県生まれ
1996 倉本尚氏に師事
1999 香良洲町に築窯
現在、白山窯にて制作
主な個展
・京都高島屋('24)
・堤側庵ギャラリー('20 '21 '24)
・松菱百貨店('15 '21 '23)
・伊勢現代美術館('16 '19)
・山画廊('07 '08 '14)

NAITUNE Naitune マルチクリエイター

愛知県出身
専門高校卒業後、デザイン会社を経てアミューズメント関連のプロダクトデザイン、企画、営業、ディレクションなどを行った後、クリエイティブディレクターとして様々なデザインを経験後、独立し好きな釣りをコンセプトとしたYoutubeチャンネル「ないちゅ～んチャンネル」を始動。
生配信を切っ掛けにアートを描き始め、現在に至る。

中澤 沙穂 Saho Nakazawa クリエイター

外大卒業後、美術専門学校へ入学。デザイナー職を退職後、個人でアート活動を行う傍らペットのポートレートイラストレーターを兼業。作家として独自の感性を生かし、ビジュアル表現の在り方について研究を重ねる。自身の作品の特徴は全てがno border(囲み線の無い絵)であり、色と色の隔たりのみで物の“存在”を表している。また、物が多様な色を取り込んでいるさまを鮫物のようなイメージに落とし込み、物体の周辺色、更には見る者をリフレクションさせている。

並木 恒延 Tsunenobu Namiki 漆芸家

1949年 東京生まれ
東京藝術大学美術学部工芸科ヴィジュアルデザイン専攻卒業
東京藝術大学大学院美術研究科漆芸講座修了、修了制作東京藝大買上げ、高橋節郎氏に師事
・日展特選・文部科学大臣賞
・日本現代工芸美術展大賞、NHK会長賞、内閣総理大臣賞
他 ・日本芸術院賞

バナナヤマモト Banana Yamamoto 点描画家

2016年より点描画家としての活動をスタート。
-点と点が繋がる瞬間をつくる-
という想いから「点」をモチーフに作品を制作。
日々「点」の可能性を探求し、平面から立体、異業種とのコラボレーションなど精力的に作品を発表している。

原田 伸郎 Noburo Harada タレント

1951年10月1日京都市生まれ。
大学在学中にフォークデュオ「あのねのね」を結成。
「赤とんぼの唄」で歌手デビュー
昨年50周年を迎えた。
2004年から書を始め全国各地で書道展を開催。
「大胆かつ繊細、自由でキュート」と評され独自の書の世界を作りあげる

日野 皓正 Terumasa Hino トランペッター

1942年東京生まれ。
'75年に活動拠点をNYに移し活動。
CM、TV出演など多方面で活躍。
2019年春の叙勲旭日小綬章受章。
12月ニューアルバム『ビヨンド・ザ・ミラージュ』を発売。
近年は公演の他、チャリティー活動や後進の指導にも情熱を注いでいる。
唯一無二のオリジナリティと芸術性の高さを誇る日本を代表する国際的アーティストである。

horime tougei horime tougei スタンプ作家

大学の美術専攻で陶芸を学び、卒業後は陶芸教室に通い勉強。陶芸教室、百貨店のイベント、雑貨店でのポップアップショップなどで陶芸小物の展示販売。お皿やカップ、ブローチやアクセサリーなどの小物から壁掛け時計や壁にかけられるミニー輪挿しなどインテリア的な作品を制作。お客様からのリクエストで記念ハンコのデザインを販売用にアレンジして作っていくうちにシリーズが増え現在に至る。

松川 和弘 Kazuhiro Matsukawa 陶芸家

1977 大阪府河内長野市生まれ
1998 奈良芸術短期大学卒業
2001 京都府立陶工高等技術専門学校修了。近藤高弘氏に師事
2006 独立・河内長野市にて開窯
百貨店、ギャラリーにて個展
第36回日本伝統工芸近畿展(大阪府教育委員会賞受賞)
第55回日本伝統工芸展(日本工芸会総裁賞受賞)
現在日本伝統工芸正会員

マツダケン Ken Matsuda イラストレーター

1990年生まれ、鳥取県米子市出身。
鳥根大学教育学部幼児教育学科卒業。
近年は特に形と色の並びを特に意識し、動物と植物の共生をメインモチーフに制作を行う。
地元市役所を退職し、2019年4月に拠点を関東に移し、制作活動を行う。
2024年は、東京・大阪にて「マツダケンの世界展」。
また、ゲーム実況者レトルト15周年記念「レトセラ」へ作品寄贈、9月には「丸善美術商事」アンバサダー就任。

松村 緋麗 Hiei Matsumura 木目込み作家

第24回日本・フランス現代美術世界展 入賞
第58回手工芸作品展 入選
kimekomi 木目込とは、桐葉(とうそ)や桐粉で固めた型に筋彫りを入れ、筋彫りにヘラなどで布の端を押し込む技法。
その伝統的技法を用いて現代風や各国特有の生地とアレンジし作品制作。世界へ発信中。
Art in Life -kimekomiが私のグローバルチャレンジです。